

インターンシップを終えて

愛媛大学 法文学部 4 回生

僕は昨年の 6 月から 9 月までの 3 ヶ月間、ここ NPO 法人アジア・フィルム・ネットワークでインターンシップをさせていただきました。合同説明会でアジアと言う団体名を聞いたときには、さぞグローバルな団体なのだろうと勝手な想像をしていましたが、実際はとても地域密着な団体でした。フィルム・コミッション事業、「道後いっぺんさん」、「こども映画塾」…どれも今まで聞いたことのない地域おこしイベントばかり。なにか違った視点で自分が住んでいる松山を発見し、地域貢献できるんじゃないだろうか。そう考えた僕はすぐにアジア・フィルム・ネットワークの個別説明ブースに向かっていました。個性的で優しいメンバーの方々や普通の企業とは違って研修期間に融通が利くところも魅力のひとつ。そして何よりも NPO ならではの数々のユニークなイベントだらけ。大学にいただけでは決してできない貴重な経験をする機会を与えていただきました。アジアを選んだことは、今でも本当に良い選択だったと思っています。そして、インターンシップ期間を終えた今でも僕はメンバーとして活動に参加しています。次はどんなイベントがあるんだろう。日々、期待しながらの生活です。

インターンシップで大切なのは「どこに行くか」ではなく「何を学ぶか」だと思います。自分の身近なところに毎日楽しくしてくれる出会いや方法がある。それを学べただけでも自分にとって、かなりの収穫でした。学生生活も残りわずかになりましたが、アジアの活動を通して充実した日々を送っていければと思っています。